

 シラバス参照／授業情報参照

## 授業情報／Course information

[戻る](#)

### ●授業基本情報

科目名／Course title	国際開発協力論：「開発」とは何か I / International Development Cooperation : What is "Development"? I		
担当教員／Instructor	宮田 春夫		
対象学年／Eligible grade	1 , 2 , 3 , 4 , 5 , 6	開講番号／Registration Code	180G3239
講義室／Classroom	総合教育研究棟 B450	開講学期／Semester	2018年度／Academic Year 第1,2ターム／the first and second term
曜日・時限／Class period	水/Wed 3限	単位数／Credits	2
授業形態／Type of class	講義	科目区分／Category	新潟大学個性化科目 自由主題／Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻／Minor	副専攻「平和学」	定員／Capacity	20
分野／Academic Field	75：新潟大学 個性化科目 35：政治学	水準／Academic Standard	05：全学学生受入可・発展内容科目大学院接続水準
抽選方式	手動		

### ●授業概要情報

更新日／Date of renewal	2017/12/27
対象学部等 ／Eligible Faculty	全学部。なお、課題別副専攻「平和学」指定科目です。
聴講指定等 ／Designated Students	開発途上国の開発について強い関心のある学生のための基礎科目です。合理的な数を上回る履修希望者があった場合には、副専攻「平和学」修得希望者を優先します。「開発」とは何かという基本に関わる内容なので、副専攻「平和学」修得希望者は、履修すると4年の総合演習等に役立つかと思います。
科目の概要 ／Course Outline	OECD職員たちの書いた教科書を読みながら、「Development」(開発、発展)の概念について、その歴史と多面的な考え方について学びます。この本は、第二次大戦後の「開発」思想を主流派と非主流派に区分した上、前者を、都市・工業発展のみを考えた初期の素朴な考え方、農業・農村の重要性に気づいた考え方、経済・貿易自由化を最優先する考え方、貧富の差の縮小や社会・政治までも含めた考え方方に区分して、それぞれの考え方の生まれた背景、特徴、長所・短所、政策や援助プログラムへの影響について解説している優れた教科書です。なお、時間の制約のため、この授業では、非主流派に区分されているマルクス主義、従属論等については、多少触れるものの、読むことはしません。
科目のねらい ／Course Objectives	後期の「II」の授業で読むAmartya Senの言うように、「Development」は幅広く捉えられるものであって、所得の増加といったことではなく、幅広く個人の不自由(unfreedoms)を小さくすることであり、また、このことは「Development」実現の手段でもあります。前期には、その基礎として、「開発」とは何なのかについてのそれぞれの考え方が、どのような状況の下で出てきたかを理解します。後期のIIの授業と合わせて、「開発」とは何か、「開発」の目標は何かを理解し、そのことによって、それぞれの専門分野でどういう手段・行動をとったらよいかを考えることができるようになることを手助けします。
学習の到達目標 ／Specific Learning Objectives	それぞれの学生が、第二次世界大戦後に生成してきた「development」についての様々な考え方とそれぞれがどういう状況で出てきたかについて理解することを目標とします。
登録のための条件(注意) ／Prerequisites	開発途上国の「開発」の問題について関心のあることが不可欠です。 教科書が英語であるので、忍耐強く英語を読む力も必要です。英語を読むことに尻込みする学生がいますが、手段として使うために高校までに英語を習ってきたのです。大学に入り、それを実際に手段として使う時が来たと考えるべきです。実際に手段として使うことにより、英語を自分の専門等の手段として使う力も向上します。これは、グローバル化した社会に出た時に多くの人に必要とされる力です。 なお、開発途上国の「開発」に強い関心のある学生だけのための授業であり、「開発」に関心の無い学生が英語の学習のために履修することは、この授業の内容を真摯に学ぼうとする学生に対して迷惑になるので、お断りします。 なお、教員の定年退職のため、この科目的開講は2018年度が最後です。
学習方法・学習上の注意 ／Study Advice	積極的に読み、他の学生と協力・分担してそれをまとめる積極的な参加が必要です。 内容、教科書の入手等については、遠慮なく教員に問い合わせて下さい。
成績評価の方法と基準 ／Grading Criteria	人数がごく少ない場合には授業への積極的な態度により評価し、そうでない場合は、そのような態度の状況に加え、「development」についての4つの考え方の特徴等の理解を口頭若しくはメモによりまとめてもらうことで評価します。
使用テキスト ／Textbooks	Charles P. Oman and Ganeshan Wignaraja, 1991 "The Postwar Evolution of Development Thinking" 272 pp., St. Martin's Press (in association with the OECD Development Centre) ISBN: 031207185X (Part I: Orthodox Development Thinking (p. 131まで)のみ使用。) (2017年12月現在、amazon.co.jpで約8,200円。Abebooks.com出展の古本で送料込み14米ドル程度から。安い古本は数が極めて少なく、かつ出たりすぐに売れてしまったりします。新本、古本ともに日本国内ではなく、輸入になるので、入手に時間がかかりります(米国からは船便が原則。ヨーロッパからは航空便の格安のもののが多いですが、確約はされていません。))

関連リンク ／URL of syllabus or other information	教員がまとめて購入する等の措置も講じることもできます。まとめての購入等を希望する学生は、宮田まで、早めに相談して下さい。
参考文献 ／References	<a href="#">授業内容についてのウェブサイト(追加情報等)</a>
キーワード ／Keywords	開発、開発協力、開発援助、輸入代替工業化、緑の革命、農村開発、経済自由化、新古典派、ベーシックヒューマニーズ
備考 ／Remarks	副専攻「平和学」指定科目です。 文系科目です。 教員の定年退職のため、この科目的開講は2018年度が最後です。

## ●授業計画詳細情報

内容 ／Content	準備学習 ／Preparing learning	備考 ／Notes
OECDの職員たちの書いた『Postwar Evolution of Development Thinking』を使い、次のような点について学びます。それには3-4コマを充てます。 (1)資本集積と工業化(テークオフ、したたり効果、輸入代替工業他) (2)農業についての見方(遅れたセクターとの見方、土地改革、緑の革命等) (3)新古典派(経済、貿易の自由、比較優位等) (4)改革派(「開発」概念の拡大、ベーシック・ヒューマン・ニーズ、新しい「開発」指標、開発途上国内の政治との関係)	それぞれの章の冒頭にはその章の概要が紹介されています。 それを予め読んでおくと理解の助けになるかと思います。	